

各位

会社名 日工株式会社  
 代表者名 取締役社長 辻 勝  
 コード番号 6306 東証プライム  
 問合せ先 取締役副社長  
 管理本部長 藤井 博  
 TEL (078) 947 - 3141)

## 業績予想値と実績値との差異及び減損損失計上に関するお知らせ

2022年9月29日に公表いたしました2023年3月期通期の連結業績予想値と、本日公表の実績値において差異が生じたのでお知らせいたします。また、2023年3月期第4四半期連結会計期間において、のれん及び一部の固定資産について減損損失を計上しましたので、併せてお知らせいたします。

## 記

1. 2023年3月期 通期連結業績予想値と実績値との差異  
 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 42,000	百万円 1,700	百万円 1,850	百万円 1,200	31円39銭
実績値(B)	39,665	1,028	1,255	1,020	26円67銭
増減額(B-A)	△ 2,335	△ 672	△ 595	△ 180	—
増減率(%)	△ 5.6%	△ 39.5%	△ 32.2%	△ 15.0%	—
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	38,846	2,053	2,274	1,649	43円16銭

## 2. 差異の理由

2023年3月期の売上高につきましては、当社の主要顧客である道路会社が原油価格の上昇の影響を受けて設備更新の時期を伺う状況となり、アスファルトプラント関連事業の売上が大幅に減少し、前回予想を下回りました。

営業利益と経常利益につきましては、売上高が前回予想を下回ったことを受け減少したこと、中期経営計画における投資フェーズとして人的資本投資に伴う費用が計画以上に増加したこと、及びタイの連結子会社であるNikko Nilkhosol Co.,Ltd.の在庫の評価損を計上したことから、前回予想を下回りました。親会社株主に帰属する当期純利益は、政策投資株保有解消等に伴う有価証券売却益を特別利益として計上する一方で、タイの連結子会社にかかる固定資産及びのれんについての減損損失を特別損失として計上したことにより、前回予想を下回りました。

## 3. 固定資産及びのれんの減損損失計上について

2023年3月期連結決算において、タイの連結子会社であるNikko Asia(Thailand) Co.,Ltd.の保有する固定資産及びNikko Nilkhosol Co.,Ltd.のNilkhosol Co.,Ltd.からの事業譲受に関連するのれんについての回収可能性を検討した結果、当初想定していた収益計画に遅れが生じる見込みとなったため、減損損失104百万円を特別損失として計上いたしました。

今般、Nikko Asia(Thailand) Co.,Ltd.及びNikko Nilkhosol Co.,Ltd.にかかる減損損失を計上いたしました。ASEAN事業は当社グループの成長ドライバーとの位置付けは不変であり、今後、様々な施策を講じることで競争力を高め、ASEANでのリーディングカンパニーを目指して参ります。

以上